

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 83.3%
保護者様： 12名回答、回答率 70.5%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・玄関と訓練室の間に10cmぐらいの段差があり、バリアフリーとは言えない。
- ・物の配置を工夫して無駄なスペースがないようにしている。

○業務改善

- ・定期的に研修を行ったり、外部の研修を受講したりして職員の資質の向上に努めている。
- ・アンケート調査をきちんと公開することができる。

○適切な支援の提供

- ・スタッフが連携し意見を出し合い、子どもの状況にあった支援を行うよう心掛けている。
- ・活動プログラムや支援内容を工夫したり適切に支援を提供することができる。

○関係機関や保護者との連携

- ・障害のない児童との交流する機会がなかった。

○保護者への説明責任等

- ・事業所に関わることについてはきちんと説明を行っている。また、面談時などでは家庭での悩みに対する助言などもきちんと行っている。
- ・個人情報授受記録簿などを用いて個人情報の取り扱いに気を付けている。

○非常時等の対応

- ・ヒヤリハット案件について常に共有をしている。
- ・避難訓練や災害対策などはきちんと行うことができている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・活動スペースや職員の配置は適切である。
- ・バリアフリー化の配慮が十分とは言えない。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムや支援内容が工夫されている。
- ・障害のない児童と交流する機会がない。

○保護者への説明等

- ・支援内容や子どもの様子についてなどはきちんと説明がされている。
- ・保護会の実施などの保護者同士の連携に関する支援が十分とは言えない。

○非常時等の対応

- ・避難訓練をきちんと行っている。
- ・緊急時対応についての説明が十分とは言えない。

○満足度

- ・子どもも通所を楽しみにしていて、事業所の支援に満足している。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・活動プログラムや支援内容を工夫し、その内容をきちんと保護者様に説明して理解をしてもらっている。
- ・児童が通所を楽しみにしている。また、保護者様も支援に満足をしている。

○改善点

- ・緊急時対応について説明する機会が少ない。
- ・保護者支援をより強化する。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・定期的に緊急対応についての説明をする機会を設ける。
- ・参加しやすい日程や興味を持たれるような内容で保護者会を実施する。

○1年間で取り組む具体策

- ・4月に緊急連絡先一覧を再配布する。
- ・保護者会実施時に緊急対応についての説明を行う。
- ・事前に保護者会に参加しやすい日を調査してから日程を決定する。

スマートキッズ